

社会資本総合整備計画

りっちじょうけん い こうぎょうけい
立地条件を活かした工業系のまちづくり

平成 2 9 年 2 月

かながわけん えびな し
神奈川県海老名市

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	立地条件を活かした工業系のまちづくり										重点配分対象の該当	無					
計画の期間	平成29年度 ~ 平成31年度 (3年間)					交付対象	海老名市										
計画の目標	海老名運動公園周辺地区 (11.8ha) は、圏央道 (都市計画道路 1・4・1 さがみ縦貫道路) 海老名インターチェンジから約 500m の立地条件を活かし、高速交通体系の利用利便性を活かした工業流通産業の集積を図り、海老名市の産業・流通拠点として周辺環境と調和した良好なまちづくりを推進する。																
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 地区内の立地企業数を現在の 3 件 (H29) から、進出企業数を加え 7 件 (H31) に増加させる。 地区内における工業・流通系の就業者数を現在の 61 人 (H29) から 236 人 (H31) に増加させる。 																
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値		備考				
											当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H30末)		最終目標値 (H31末)			
	産業拠点形成に寄与する地区内への企業進出数を調査する。 ※大型街区は分割を想定し、進出企業用街区数を 7 区画 (既存 3 区画+新規 4 区画) と想定 地区内の計画建設用地に進出した企業の就業者数を調査する。 ※事業計画の計画建設用地への新規就業者を想定										3 件	—		7 件			
											61 人	—	236 人				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	498 百万円	A	498 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%					
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H29	H30	H31	H32	H33				
A-1	区画整理	一般	海老名市	間接	海老名運動公園周辺地区土地区画整理組合	海老名運動公園周辺地区土地区画整理事業	土地区画整理事業 A=11.8ha	海老名市						498	1.17		
合計													498				
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H29	H30	H31	H32	H33				
合計																	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H29	H30	H31	H32	H33				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H29	H30	H31	H32	H33				
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

交付金の執行状況

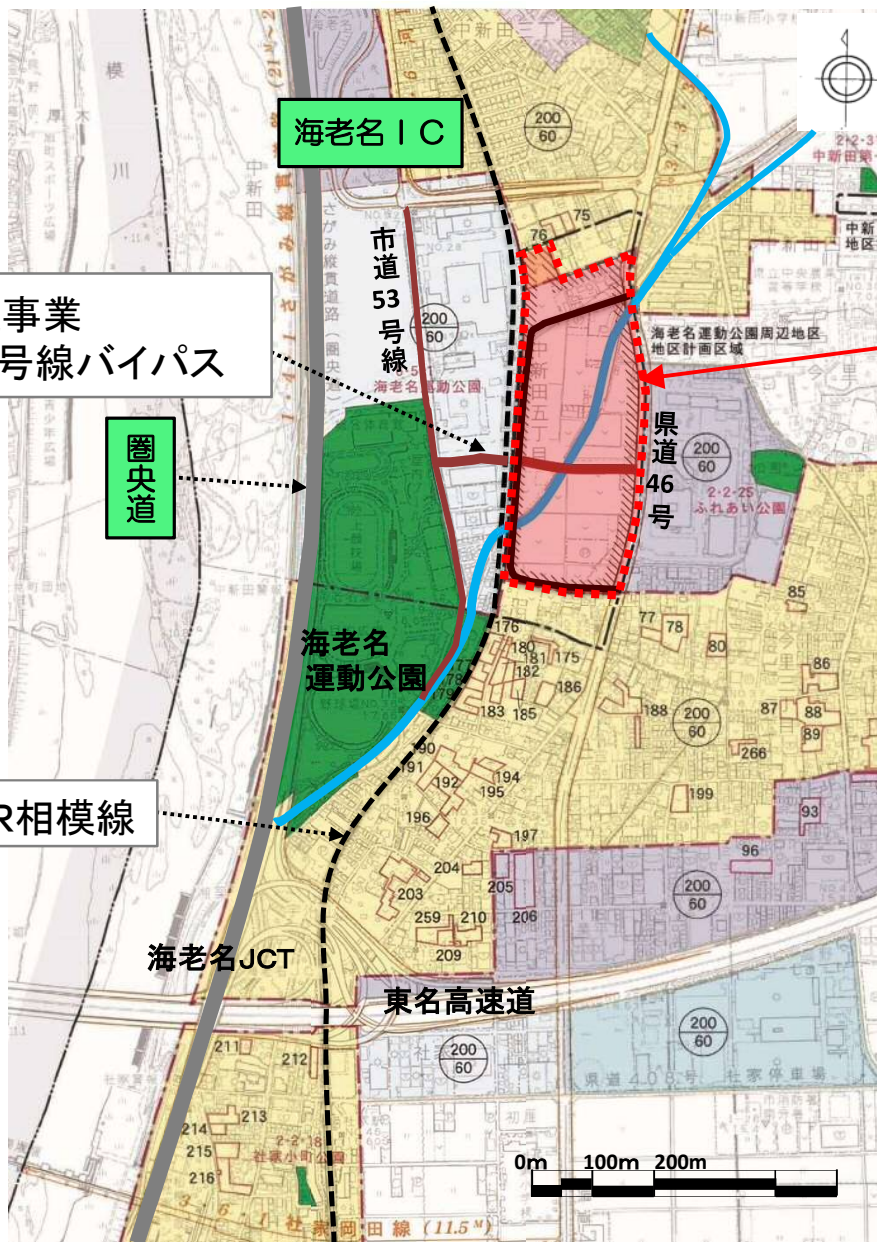
(単位:百万円)

	H29	H30	H31	H32	H33
配分額 (a)	56	110			
計画別流用 増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	56	110			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	56	110			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 平成29年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	立地条件を活かした工業系のまちづくり	交付対象	海老名市
計画の期間	平成29年度 ~ 平成31年度 (3年間)		



別途事業
(仮称)市道53号線バイパス

圏央道

JR相模線

海老名JCT

東名高速道

海老名IC

海老名運動公園周辺地区
地区計画区域
土地区画整理事業
(11.8ha)

0m 100m 200m

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：立地条件を活かした工業系のまちづくり

市町村名：神奈川県海老名市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
⑤事業実施にあたり、民間活力の活用等が図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○